



聖泉大学人間学部4年生
池田 あすみさん

土山町出身の池田さんは、国内女子サッカーリーグ最高峰である「なでしこリーグ」に所属する「スペランツァFC大阪高槻」の一員として、この春より新たなステージにチャレンジします。これまでも国体出場やナショナルトレセン選抜といった実績を残してきた池田さんに聞きました。

Q 池田さんがサッカーを始めたのは？

双子の弟がいるのですが、弟がサッカーをする姿を見て、私もしてみたいと思い、小学校3年の時に男の子に混じって地元のスポ少に入団しました。

今のように女子サッカーが注目されておらず、中学校でも男子しかいないサッカー部に特別に入部させてもらい、高校でやっと女子チームに入りました。今も女子サッカーチームは、大学も含めて多くはないようです。

Q 大学でサッカーに対する変化が起きたとのことですが

2回生の時にフリーランニングという、ボールを持っていない人がどう動いたらよいかを考える練習をした時です。それまで感覚だけでプレーしていたサッカーが、頭を使って考えられるようになり、一気におもしろさとプレーの幅が広がりました。トレーニングだけでなく勉強したり、考えたりすることが大事だなと思いました。

Q サッカーを通じて勉強することを？

そうですね。大学の授業ではメンタルについてなどスポーツに大事なことでなく色々なことを学びますし、様々なジャンルの本をよく読みます。直接サッカーに関係のないことでどこかにつながるんで、大事なことだと思います。その他に、その日の試合や練習について箇条書きではなく、必ず文章でノートに振り返りを書くようにしています。今は卒論執筆で大忙しですが。



▲今の課題はトラップの精度を高めること

Q では、最後に今後の抱負を

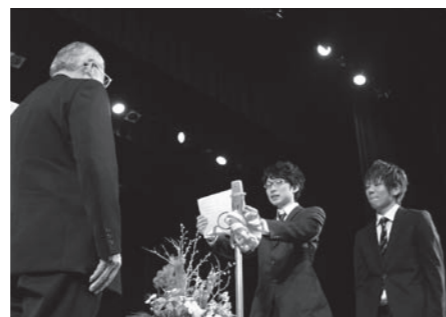
レギュラーをなんとか勝ち取って、その活躍で地元で貢献していけるようになりたいと思いますので、甲賀市の皆さん、ぜひ応援してください。

※日本女子サッカーリーグ1部リーグの愛称で、10チームが所属しています。なお2部リーグ(チャレンジリーグ)も含めた全体では26チームが所属しています。



甲賀市成人式

平成25年甲賀市成人式が1月13日、あいこっか市民ホールで行われ、新成人727名が参列しました。会場の外では、記念撮影などをする若者たちの姿で賑わいましたが、ホール内で行われた式典は始終厳粛な雰囲気です、新しく大人の仲間入りをするという自覚がうかがえ、来賓の皆さんからも感心の言葉がもれていました。旧友との再会を楽しんでいたある新成人のグループは「今まで育ててもらった両親や地元を、これからこっかやっかって恩返しこっか」と話していました。



▲市長に新成人を代表して挨拶を述べる
倉谷遼汰さんと籠原友洋さん

式典臨む姿に大人の自覚

雪ちらつく寒空に
ぬくぬくの忍者鍋

甲賀調理師会社会奉仕事業

甲賀調理師会の調理師13名が12月25日、甲賀町の児童福祉施設「鹿深の家」で約90人分の忍者なべと黒影米ごはんの郷土料理を振る舞いました。同会によって平成16年度からこの事業は続けられていますが、クリスマス当日に行われるのは今回が初めてです。



▲サンタさんからおいしい料理のプレゼント

地元野菜がたっぷり入った暖かい忍者なべは、雪がちらつくこの日にはぴったりの献立で「冷えた身体が芯から温まって、ほんまにおいしい」と生徒らは、大きなお椀にも関わらず何度もおかわりをしていました。



元気なまちかど

市代表の誇りを胸に
アメリカへ

市と姉妹都市提携を結ぶ米国ミシガン州のマーシャル市、デウィット市への中学生交流事業派遣壮行会が1月8日、忍の里プラザで行われ、両市への派遣生徒19名とその保護者や関係者らが参加しました。

生徒らは、一人ひとりが英語と日本語でスピーチを行い、市を代表しての渡米だという自覚と、このチャンスを存分に活かそうという心意気を力強く表明しました。デウィット市訪問団の岸上叶多君は「アメリカならではの食生活や文化を楽しんでほしい」と、異国の生活を前に期待いっぱい話しました。



▲米国での出来事に胸を膨らませる訪問団の皆さん

甲賀市中学生
姉妹都市交流事業

※訪問団の皆さんは1月19日、派遣を終えて帰国されました。

いきものみつけファーム

市内市民団体が、大学、行政、企業などと協力して「いきものみつけファーム滋賀推進協議会」を12月22日、土山町のダイヤモンド滋賀で行われた総会で設立しました。この取り組みは環境省が実施する事業「いきものみつけ」の一環で、様々な参加者が協働し、お互いのノウハウを活かして有機農法に取り組みむものです。また、ここで作られたこだわりの農産物の流通や、畑周辺に生まれた豊かな生物の観察など新たな環境教育の開発を目的としています。事務局の森繁樹事業部長は「この事業で持続可能な社会の実現と、それに関わることで環境教育、世代・地域間の交流、癒しや生きがいのある場となればと思います」と期待を込めます。



▲総会には様々な立場から参加者が集まりました

小さい頃から
お茶を入れる習慣を

伴谷小学校お茶入れ教室

お茶入れ体験教室が1月10日、伴谷小学校調理室で行われ、4年生2クラス約80人がそれぞれ参加しました。



▲初めての回し注ぎを体験

この授業はJA、県茶業会議所、市県が、子どもたちにお茶の良さを小さいころから知ってもらい、将来の茶葉の消費拡大につながればと昨年からはじめ、今回で6回目を数えます。

授業では、甲賀市がお茶の産地であること、お茶の正しい入れ方の話があり、子どもたちも実際に体験してみました。ティーパックしか知らない子どもが多い中、回し注ぎや茶葉の蒸らし方などを体験したみんなは「同じ葉っぱなのに、ちょっとやり方を変えただけで甘かったり、苦かったりしてすごい」と目を輝かせていました。